

リスクマネージャー!

医療の安全に取り組む全国のリスクマネージャー様にインタビュー

No.73 医療法人平和会 吉田病院（奈良県） 医療安全管理者 保健師 高木 匡代様



【病院外観】



【高木様(左)と加賀総師長(右)】

■ 病院の沿革と概要

- 1928.11（昭和3年）創立 奈良県下最初の精神科病院「あやめ池サナトリウム」62床
- 1931.4 吉田病院と改称
- 1936.6 病棟増築・増床 130床
- 1952.8 「医療法人平和会（財団）」設立 .精神 96床、内科 30床
- 1959.4 精神科中央棟新築 精神科 135床 内科 30床 結核 81床 計 246床
- 1995.10（平成7年）北病棟開設精神科 213床、一般科 99床。312床、新 OP 室設置
- 2003.9 南病棟オープン
- 2012.11 一般科病棟 看護基準 7対1取得
- 2013.8 病院機能評価 3rdG：ver.1.0 認定主たる機能：精神科病院 副機能：一般病院 1

病床数 312床（一般 99床、精神 213床）・救急告示病院・臨床研修病院協力型

■ 病院理念・基本方針

【理念】私たちは憲法で保障された健康で文化的な生活をする国民の権利を尊重します。

そして、地域の人々や友の会と協力して安心して暮らせるまちづくりを目指します。

この取り組みの中で、私たち吉田病院は必要とする人にはお金の有るなしで差別されることのない心と身体を総合する医療と福祉を、適切且つ安全に提供できる医療機関でありたいと考えています。

【医療・福祉宣言】

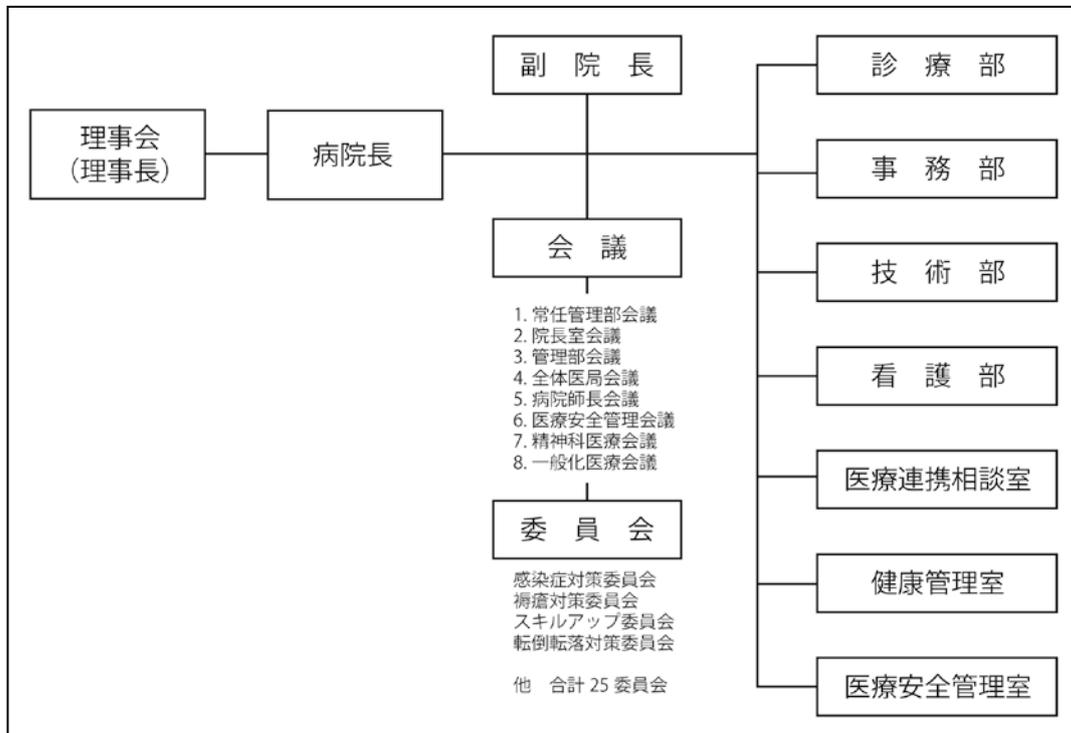
- (1) 予防から治療、リハビリ、在宅医療介護までの総合的医療活動をすすめます。
- (2) 自然豊かな環境の中で、患者様の権利を尊重し、心と身体を癒します。
- (3) 誰でも、いつでも受診できる安心安全の医療機関を目指します。

1. 組織体制について

医療安全に関する組織体制についてお聞かせ下さい。

理事長、病院長の下に 8 つの会議、さらにその下に 25 の委員会で構成されています。

医療安全管理会議は毎月 1 回開催されており、メンバーは病院長、副委員長、総看護師長、副事務長、事務次長、医療安全管理者と医薬品責任者と医療機器安全管理者の計 14 名です。



高木様の主な業務内容を、院内各部署との連携を含めてお聞かせ下さい。

医療安全に関しては以下が業務内容です。

- ・医療安全対策の検討および推進
- ・医療事故・インシデント等の情報収集
- ・医療事故・インシデント等の分析および対策立案に関すること
- ・医療安全対策のための職員に対する指示に関すること
- ・医療安全対策のための啓発、教育、広報に関すること
- ・その他医療安全に関すること

また、「転倒・転落対策」や「感染対策」も私が受け持っていますので、業務内容は多岐にわたります。

院内各部署間の連携に関しては、転倒が多い患者様を、委員会時に他職種のメンバーと一緒にラウンドします。

その後、カンファレンスを開き、作業療法士、理学療法士、医師、ソーシャルワーカー等それぞれの職種が 1 つのテーマで話し合われる早期に対策を検討しています。

また、クレーム対応、注意喚起においては情報共有を今年度の目標にあげています。

2. 転倒・転落事例情報の収集と対策について

事例情報の収集から防止策の実施までの仕組みをお聞かせ下さい。

転倒・転落が起きると電子カルテ内にあるインシデント・アクシデント項目からレポート報告が上げられます。その内容は管理委員会のメンバーが見ることができ、案件によっては電話報告がありますので、その場合は現場へかけつけます。

防止策はまず、現場スタッフが考え病棟内で立案し、一般科医療会議、精神科医療会議で検討後、更に医療安全管理会議で確認するという流れになっています。また、インシデント・アクシデントのカンファレンスシートを参考に医療安全ニュースを配信し、事故防止を呼びかけています。

他には、転倒の危険がありセンサーを使用している患者さんには、スタッフやご家族にわかっていただけるよう、イラスト（写真ご参照）をご家族の了承を得た上でベッド周りに掲示しお知らせをしています。



吹出しの色により危険度表しています。

近年の事例発生件数はどのように推移していますか？またその原因はどのようにお考えですか？

残念ながら転倒・転落率は増えています。原因は入院件数の増加、入院患者の高齢化や認知症の増加です。また、疾患によっても対策が難しく、2012・12年に比べるとやや増加傾向にあり今後の課題となっています。

事故防止のための人的対策（専門チームで活動、ラウンドの工夫など）はされていますか？

されている場合、内容をお聞かせ下さい。

当院は、院内ラウンドに力をいれており、委員会、個人で現場の看護師が不定期に行っています。また、今年から発足された「スキルアップ委員会」によるラウンドを週一で行っています。スキルアップ委員会は、管理部、看護師、リスクマネージャーの3名のメンバーで通常のラウンドとは違うより広い視野で褥瘡、転倒・感染等のラウンドを行っています。

3. 医療安全について

医療安全に関連して、過去どのような研修を実施されましたか？

最近では、法律に関する事故の研修やノンテクニカルスキルの研修を昨年より年二回全職員を対象に行っています。また、メーカーに協力いただき、ベッドからの移乗の勉強会や転倒・転落セミナー等から知識を習得しています。

地域の病院様と医療安全に関する連携はされていますか？されている場合、目的、内容をお聞かせ下さい。

奈良県、民医連の土庫（どんご）病院、おかたに病院の3つの病院で月に1回、医療安全に関する会議をしています。1ヶ月間で起きた事故やその対策等、さまざまな情報交換の場として医療安全に関する会議を行っています。

また、近畿地協（滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山・奈良）近畿ブロックの医療安全管理者が集まり情報交換・共有を行っています。転倒・転落だけではなく、様々な問題についての対策やマニュアル作成の為の資料等、各病院の得意な分野を持ち寄り大変参考になっています。

